



IZUMO TOGO

2019年度 環境経営レポート

対象期間：2019年04月01日～2020年03月31日

作成日：2020年08月28日

改定日：2020年11月20日

IZUMO TOGO ELECTRONICS Corporation

Contents

目次



- 1 | ご挨拶
- 2 | 組織概要と対象範囲
- 3 | 実施体制
- 4 | 環境経営方針
- 5 | 環境経営目標と実績・評価
- 6 | 環境経営計画の取組・評価
- 7 | 環境関連法規等の遵守状況の
確認及び評価の結果並びに違反、
訴訟等の有無
- 8 | 次年度の環境経営目標と環境経営
計画
- 9 | 代表者による全体評価と見直しの
結果

Salutation

ご挨拶



環境への取り組みは企業の果たすべき重要な役割と認識し、2014年にエコアクション21を認証取得して以降、省エネルギー化を中心とした環境活動を積極的に推進しています。

これまで、省エネ仕様機器への更新による二酸化炭素排出量の削減や、全社員への意識高揚を働きかけながら、廃棄物の3Rに取り組んできました。

2019年8月には、環境に与える負荷が小さいグリーン電力の活用へ移行すべく、NTTファシリティーズ様の太陽光発電システム事業に参画することを決定、2020年4月より稼働開始し、当社へのグリーン電力の提供が開始されました。

これにより、二酸化炭素排出量を約30%削減できる見込みです。

当社は引き続き、エコアクション21の理念に基づき、環境と経営が共に発展する取り組みを行っていきます。

株式会社 出雲東郷電機

代表取締役社長 **前田 和雄**

Corporate profile

組織概要と対象範囲

事業所名

株式会社 出雲東郷電機

代表者名

代表取締役社長 前田 和雄

所在地

島根県出雲市西林木町626-1

環境管理責任者及び担当者連絡先

※2020年10月より変更あり

環境管理責任者：山本 文典
担 当 者：大村 美恵子
TEL 0853-23-1811
FAX 0853-24-8121

事業規模(2020年3月31日現在)

製品出荷額：10億7000万円
社 員 数：114名

事業活動の内容

産業用制御機器（検出スイッチ、
操作スイッチ、センサ）の製造

事業年度

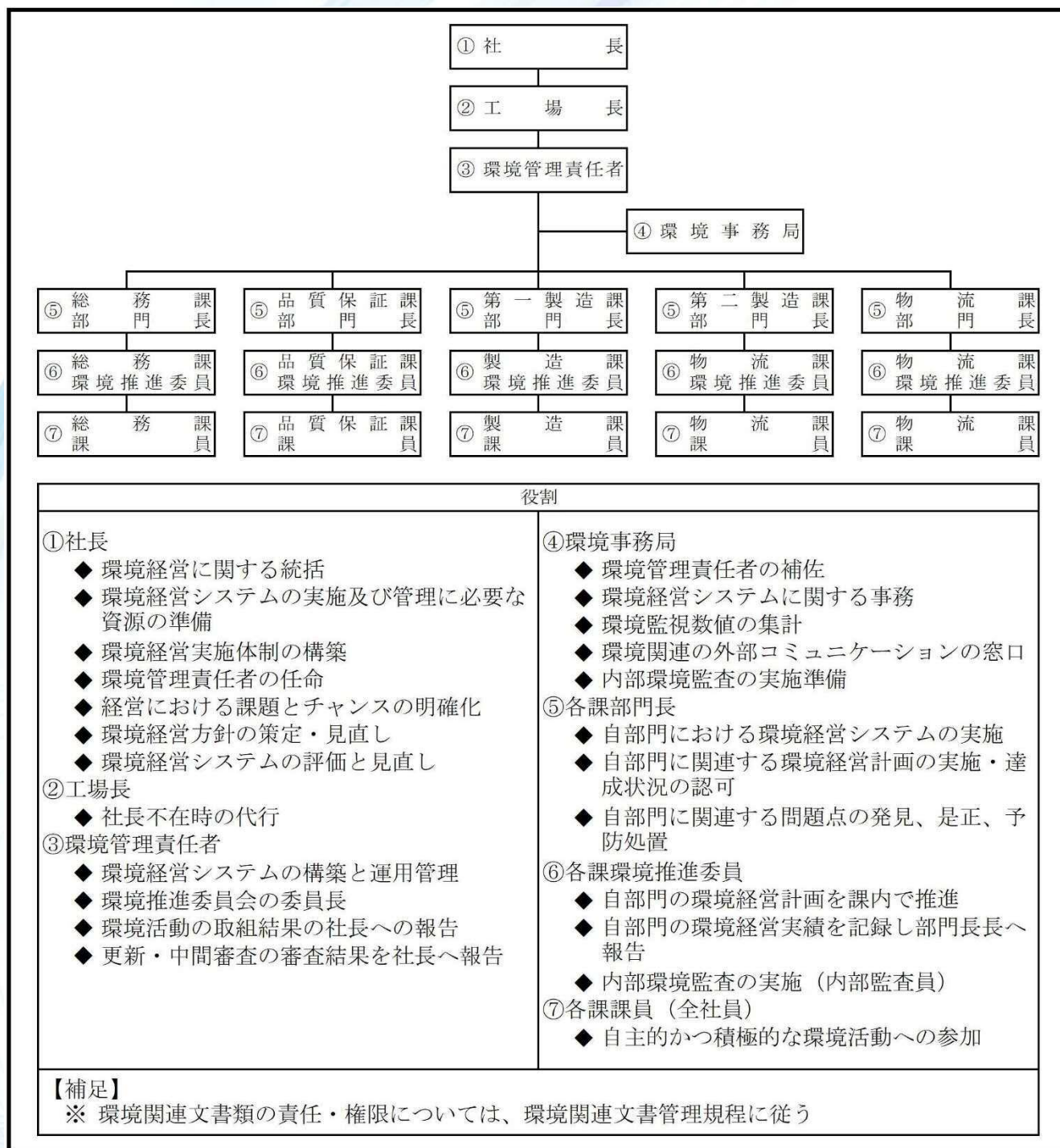
4月～翌年3月

認証・登録の対象範囲

当社で行う全活動、全組織

System

実施体制



2018年11月30日制定 2020年11月12日改定

Environmental policy

環境経営方針

基本理念

当社は、環境問題の保全が企業活動における重要課題と認識し、当社が環境に与える影響を社員一人一人が自主的に、継続的に低減するための環境活動に取り組み、自然環境との調和と地域社会との共生を目指します。

方 針

1. 環境保全活動として、次の事を重点課題として取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量削減のため、電力・化石燃料等のエネルギーを有効利用します。
 - (2) 循環型社会形成のため、廃棄物の削減とリサイクルの推進に取り組みます。
 - (3) 限りある資源の有効活用のため、生産効率向上と不良率削減に取り組みます。
2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連の法規制を遵守します。
4. 地域社会との調和を目指して社会貢献活動の推進を行います。
5. 環境への取り組みを環境経営レポートにまとめ公表いたします。

制定日 2014年 4月 1日

改定日 2018年 4月 1日

株式会社 出雲東郷電機

代表取締役社長 前田 和雄

Objective

環境経営目標と実績・評価

項目名	2018年度	2019年度			2020年度 目標	2021年度 目標	評価
	実績数値	計画	実績	計画と 実績の差			
1. 二酸化炭素 排出量の削減 (※1)	866.3 t_{CO_2}	849.3 t_{CO_2}	857.9 t_{CO_2}	8.6 t_{CO_2}	555.8 t_{CO_2}	550.5 t_{CO_2}	2018年度に対しては下がったものの、計画は達成できなかった。 予定していた1号館トイレの更新ができなかった影響と考えられるが、引き続き各自が節電に努めたため2018年度は下回ることができたと思われる。
1-① 電気使用量の削減	121.9 万 kWh	119.6 万 kWh	120.8 万 kWh	1.2 万 kWh	119.6 万 kWh	118.4 万 kWh	
1-② 化石燃料使用量の削減 (液化石油ガス【LPG】)	15,445.0 m^3	14,801.0 m^3	15,040.0 m^3	239 m^3	15,040.0 m^3	15,040.0 m^3	
2. 廃棄物排出量の削減	39,738.9 kg	39,341.6 kg	38,277.3 kg	▲1,064.3 kg 削減率 3%	37,898.3 kg	37,523.1 kg	廃棄物排出量の分析はできなかったが、物流部門にて一部部品について段ボールでの納入から使い回しのできるオリコンに変えることでダンボールの排出量を減らす事ができた。
2-① 一般廃棄物排出量削減	26,154.6 kg	25,893.1 kg	22,719.6 kg	▲3,173.5 kg 削減率 13%	22,496.4 kg	22,273.7 kg	
2-② 産業廃棄物排出量削減	13,584.3 kg	13,448.5 kg	15,557.7 kg	2,109.2 kg	15,401.9 kg	15,249.4 kg	
3. 水使用量の削減 【水道水と井水の使用量削減】	2,441.0 m^3	2,416.6 m^3	2,297.0 m^3	▲119.6 m^3 削減率 5%	2,297.0 m^3	2,297.0 m^3	2018年に実施した食堂トイレの更新と引き続き各自が節水に努めた成果と思われる。
4. 化学物質使用量の把握 【PRTR制度に該当する第一種指定化学物質の使用量を把握する】	化学物質管理規定に沿って適正な運用の継続 ※2019年度年間使用量10.2kg（参考：2018年度実績11kg）						化学物質管理規定に沿って適正な管理ができ、使用量の大幅な変化なかった。

(※1) 購入電力の二酸化炭素排出係数については、平成28年度（2016年度）の中国電力の実排出係数「0.691kg-CO2/kWh」を使用

Activities

環境経営計画の取組・評価

No.1-① 電気使用による二酸化炭素排出量の削減【電気使用量の削減】

電力使用量推移 [単位：kWh]



No.1-② 化石燃料使用による二酸化炭素排出量の削減【LPガス使用量の削減】

LPガス使用量推移 [単位：m³]

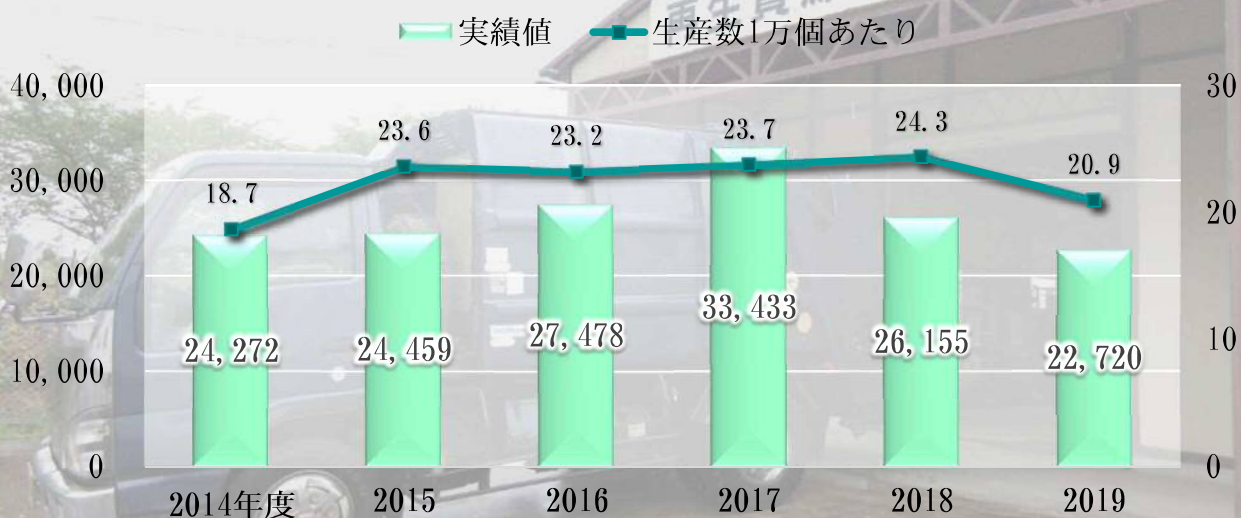


Activities

環境経営計画の取組・評価

No.2-① 一般廃棄物排出量削減

一般廃棄物排出量推移 [単位：kg]



No.2-② 産業廃棄物排出量削減

産業廃棄物排出量推移 [単位：kg]

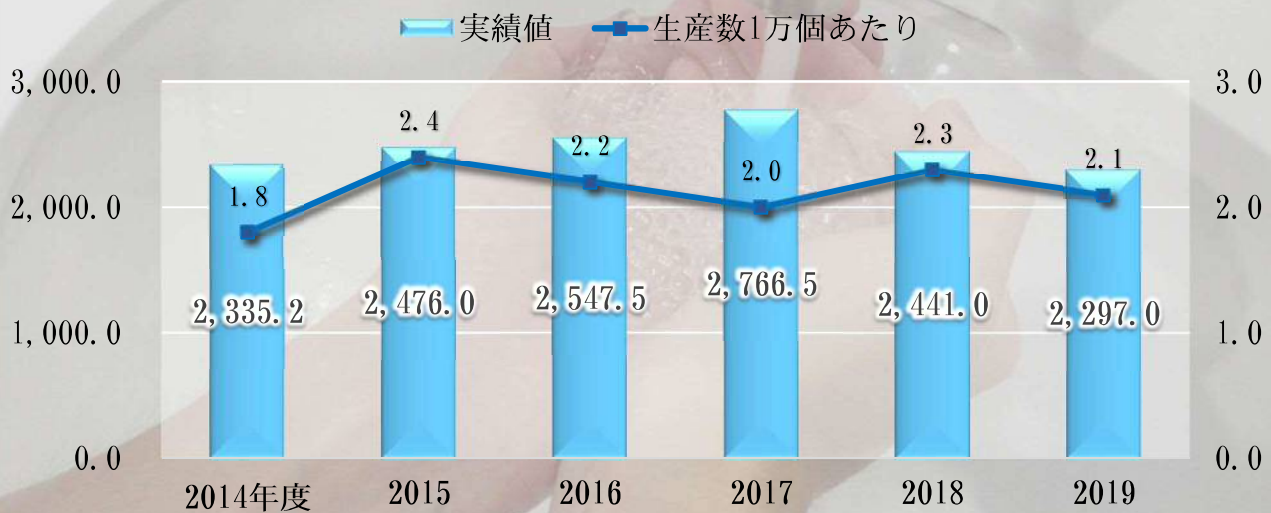


Activities

環境経営計画の取組・評価

No.3 総排水量の削減

総排水量推移 [単位：m³]



項目名	環境経営計画	取組内容	評価
二酸化炭素排出量の削減	食堂棟・連絡通路の空調機を省エネタイプ更新	5月に食堂棟、7月に連絡通路	予定通り省エネタイプへの更新ができた
	1号館トイレの照明をLEDにし、かつ人感センサーでの点灯に変更	未実施	レイアウト案と費用の折り合いがつかず、今年度の実施は見送り、来年度引き続き取り組む
廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の分析をし、2020年度の部門別活動について検討する	物流部門にて一部部品について段ボールでの納入から使い回しのできるオリコンに変更	廃棄物排出量の分析はできなかったが、代わりに段ボール排出量を減らす取り組みができた
水使用量の削減	1号館のトイレを節水タイプに更新	未実施	レイアウト案と費用の折り合いがつかず、今年度の実施は見送り、来年度引き続き取り組む
化学物質使用量の把握	化学物質の年間使用量が規制量の1,000kg未満かどうかを確認	年間使用量11kgで規制値未満	化学物質管理規定に沿って適正な管理ができた
【継続的活動】 以下項目については引き続き継続的に活動を実施 不要な電気をこまめに消す、空調の適正温度管理、廃棄物の分別徹底、節水の徹底、化学物質管理規定に従い化学物質の適正管理			

Activities

環境経営計画の取組・評価

食堂棟・連絡通路 空調機入替

2019年5月：食堂棟の空調機を更新（ガス空調⇒電気空調）

〃 7月：連絡通路の空調機を更新

- 設置機種のパワーを再設定し不足していたパワーを補ったため、無理な運転がなく稼働効率が良くなった
- 集中管理システムにより年間スケジュールを設定し稼働日に合わせて自動ON・OFFが可能になり、消し忘れ防止もでき、ムダのない稼働を実現
- 食堂棟は近年使用料金が上がりつつあるガスを排除



：入替済エリア



食堂棟：LPガス **ゼロ**
使用量が **0**

670^{m³}/年 ▶ 0^{m³}/年

[2018年度実績]

※当社使用量の約5%を削減しました

最新の
省エネタイプへ
節電



Activities

環境経営計画の取組・評価

構内蛍光灯のLED化

2号館事務所：6灯 連絡通路：34灯
第1会議室 ：2灯

LED照明リニューアルの目的

水銀は人体や魚、鳥類にまで有害

■水銀を使用している蛍光灯を排除

小電力でも点灯可能なため環境への配慮

■省エネ対策・消費電力を削減

消費電力

従来の
蛍光灯
66w

一般の
LED
32w

約50%
省エネ



構内照明を順次LED化へ

Activities

環境経営計画の取組・評価

社内パソコン入替

消費電力の比較【社内パソコン43台全て入替】

過 去

標準消費電力
約**12W**



その差
約**5W**



年間換算(1日8H×43台)
約**400KW削減**

現 在

標準消費電力
約**7W**



エコキャップ運動

111.45kgの
CO2排出を削減

社会貢献活動の継続【エコキャップ回収個数推移】



Regulation

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	適用される事項【施設・物質・事業活動】	遵守状況
水質汚濁防止法 【法第14条の2】	・貯油施設、危険物等の事故時の処置と届出	該当なし
浄化槽法 【法第5, 10, 11条】	・浄化槽の保守点検、清掃、排出水水質検査	○
フロン類の使用の合理化及び管理の 適正化に関する法 【法第14条, 16条第1項】	・7.5kW未満は簡易点検を3ヶ月に1回以上実施する ・7.5kW以上50kW未満のエアコンは簡易点検を3ヶ月に1 回以上実施し、3年に1回以上業者にて定期点検	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 【法第6条の2, 法12条の2, 3, 5, 12条】	・保管基準の遵守、委託基準の遵守、電子マニユフェ ストの交付	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 施行規則 【法第8条】	・保管場所の表示600mm×600mm以上の標識掲示 ・飛散／浸透防止 ・衛生管理	○
出雲市火災予防条例 【条例第31条】	・危険物保管量の管理	○
消防法 【法第9条】	・バルクタンク変更時の届出	該当なし
家電リサイクル法 【法第6条】	・特定家庭用機器廃棄物の収集もしくは運搬をする者 ・又は再商品化等をする者に適切に引き渡す	○

違反等の遵守状況の評価

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
【2020年03月13日確認】

また、創業以来6年間にわたって保健所等関連機関からの違反の指摘及び、地域住民等の
利害関係者からの訴訟はありませんでした。

Next year target

次年度の環境経営目標と環境経営計画

項目名	2019年度	2020年度		2020年度 環境経営計画
	実績数値	増減率	目標数値	
1. 二酸化炭素 排出量の削減	791.5 t-CO ₂	-29.8 %	555.8 t-CO ₂	・太陽光発電電力の利用開始 ・1号館トイレの照明をLED化し、かつ人感センサーでの点灯に変更 ・1号館空調機を省エネタイプへ更新 ・未使用時の照明・ディスプレイの電源OFFなど、節電対応の継続 ・空調機の省エネ運転の継続
1-① 電気使用量の削減	120.8 万kWh	-1.0 %	119.6 万kWh	
1-② 化石燃料使用量の削減 (液化石油ガス【LPG】)	15,040.0 m ³	前年度維持	15,040.0 m ³	
2. 廃棄物排出量の削減	38,277.3 kg	-1.0 %	37,898.3 kg	・形D4N(セーフティスイッチ)ラインでの部品廃棄量削減 ・廃棄物分別徹底の継続
2-① 一般廃棄物排出量削減	22,721.4 kg	-1.0 %	22,496.4 kg	
2-② 産業廃棄物排出量削減	15,555.9 kg	-1.0 %	15,401.9 kg	
3. 水使用量の削減 【水道水と井水の 使用量削減】	2,297.0 m ³	前年度維持	2,297.0 m ³	・1号館トイレを節水タイプに更新 ・手洗い等での節水対応の継続 ・漏水の早期発見対策の継続
4. 化学物質使用量の把握 【PRTR制度に該当する 第一種指定化学物質の 使用量を把握する】	10.2 kg ※昨年度の 年間使用量	化学物質管理規定に沿って適正な運用の継続		

(※1) 購入電力の二酸化炭素排出係数については、平成30年度(2018年度)の中国電力調整後排出係数「0.636kg-CO₂/kWh」を使用

Review

代表者による全体評価と見直しの結果

生産活動が企業主体である当社においては、生産性や不良率改善の活動を行うことが、省エネや廃棄物量削減等の環境保全活動に繋がると考えます。引き続き改善活動等を通じて、生産性向上及び不良率改善に取り組むこと。

目標や削減実績の数値は、使用量のみでなく、金額でも表して経営的にもわかりやすくすること。



IZUMO TOGO

ELECTRONICS Corporation

